

Global LEAP Internship: JBL Mekong

中央大学法学部国際企業関係法学科 3 年

原口晃一

JBL Mekong で約 2 ヶ月間毎週金曜日に（参加日数 7 日）インターンシップに参加した。勤務時間は平均 7 時間程度（午前 8 時から午後 5 時まで）で、主な仕事内容は、カンボジアのビジネスや法律に関するニュースの要約作成や Facebook ページの更新であった。基本的に、午前中に、The Phnom Penh Post や Khmer Times、The New York Times などオンラインニュースでカンボジアの法令やビジネスに関する記事を読み、要約する。午後には、ネイティブの女性に要約を添削してもらい、Facebook に投稿するというを行なった。空き時間は、カンボジアの会社法等の資料が事務所に充実していた為、自習させていただいた。

JBL Mekong の雰囲気はアットホームでとても過ごしやすい環境であった。

村上弁護士は、気さくで、親切な人柄で、僕が馴染めるようにと配慮してくだ

さり、食事会やクリスマスパーティーに誘ってくださった。

インターン全体を通して、一番感じたことは自分の力不足である。藪本さんに五月にお会いした時にも感じたことだが、僕はまだ「グローバル」に戦える武器を何も備えていないことを強く実感した。Facebook に記事を投稿するだけでも英語の能力、特に表現力が乏しいことが如実に現れた。知識に関しても、同じことが言える。私自身が、法律の勉強を怠っていた為、実際の現場で使える人材からは程遠かった。他の従業員（カンボジア出身）は、高度な法律の知識を有しかつ英語や日本語で日常業務を行っていた。一方私はと言うと、法律の知識は浅く、語学力もビジネスレベルまで達していないと感じられた。改めて、自分の未熟さ、力不足を客観視できる環境に身を置けたことは大変有意義であった。

インターン生として受け入れてくださった、村上弁護士ならびに JBL Mekong のみなさんには、大変お世話になって、ここから感謝しています。